

清水正健 しみず せいけん 修史家。安政二年常陸國水戸生れ、昭和九年歿（六
十六）（一九三〇）。號梅軒、高野。栗田寛の門人。水戸の巖峯館いんぱくの修史に従
事。のち山口、秋田、水戸の中學校で教職。鹿耳宮内省屬託となる。
昭和四年陸軍特別大演習の折來常の 昭和天皇に、栗田勤みさとと共に御前
講演ごぜんを爲す。

編著の『大窪烈士追悼集』（昭和六年六月）二十日茨城・大窪義一刊）、
『烈士の行實』（清水正健直解・寺内誠校訂、昭和八年四月）二十日水戸
徳川家蔵版、農人形銅像建設事務所）、『御前講演と水戸學本義』（栗
田勤著、昭和十一年七月）二十日茨城・水戸の變風普及會編刊）、『水
戸學講演』、『栗田勤の著書、昭和十九年三月』三白朔文社（等）。